

## 平成19年度東京都病院会計決算審査意見書

### 第1 審査の概要

1 審査の対象 病院経営本部

#### 2 審査の方法

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

また、本事業の経営状況を把握するため計数の分析を行うとともに、経済性の発揮及び公共性の確保の観点から事業運営が適切に行われているかを検証した。

3 審査の期間 平成20年6月2日から同年8月6日まで

### 第2 審査の結果

#### 1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、病院事業の経営成績及び財政状態を、別項指摘事項を除き適正に表示しているものと認められる。

#### 2 事業運営について

平成19年度の病院事業は、普通病院7、小児病院2、精神科病院2の計11病院において、病床数5,501床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院で169万8,531人、外来で202万1,553人となっている。

これを前年度と比較すると、入院では3万1,534人、外来では4万7,497人それぞれ減少している。

収支状況は、総収益1,440億余円に対し、総費用1,334億余円であり、差引き105億余円の純利益となっている。

財政状況は、資産1,982億余円、負債193億余円及び資本1,789億余円となっている。

当年度の経営状況は、105億余円の純利益を生じ、前年度からの繰越欠損金が解消され、未処分利益剰余金が47億余円となっている。

しかしながら、これは、平成18年4月に荏原病院の土地を一般会計に有償所属換したことに伴う繰延年賦売却益の残額を平成19年度に特別利益として計上したことにより生じたものであり、経常損益で見ると、3億余円の損失を計上している。また、外来患者数及び入院患者数が減少傾向にあることなどから、医業費用が医業収益を上回る状態が継続しており、経営面では、依然として厳しい状況にあるため、より一層の経営努力が必要である。

### 3 指摘事項

#### (1) 決算に関するもの

##### ア 資産受入時の会計処理を適正に行うべきもの

駒込病院及び松沢病院は、平成20年3月に、東京都職員共済組合青山病院（以下「青山病院」という。）から物品を受け入れている。

ところで、平成20年3月17日付19病経財第483号「職員共済組合青山病院からの物品の受け入れに伴う手続きについて（通知）」によると、受入物品のうち青山病院における取得価格が10万円以上のものについては、その取得価格から減価償却累計額相当分を控除した額に運搬設置費を加算し、受入金額が10万円以上のものは固定資産としている。また、その金額が10万円未満のもの及び青山病院における取得価格が10万円未満のものは、流動資産として受け入れてから材料費に振り替えるとしている。

しかしながら、固定資産台帳を見たところ、以下の問題点が認められた。

駒込病院では、固定資産として受け入れた物品（臨床検査用顕微鏡ほか5点）664万8,000円に運搬設置費23万8,000円を加算すべきところ加算していないため、固定資産を23万8,000円過少に計上している。

松沢病院では、表1の1のとおり、運搬設置費を加算すべきところ加算せずに固定資産として受け入れている。また、表1の2のとおり、流動資産として受け入れるべきものを固定資産として受け入れている。

この結果、固定資産を19万4,568円過大に計上している。また、流動資産に24万8,832円計上していないうえに、材料費への振替も行っていない。

本部は、資産受入時の会計処理を適正に行われたい。

(表1) 青山病院から譲り受けた物品の受入金額正誤表

(単位：円)

病院名	受入物品	受入金額（誤）		受入金額（正）			固定資産計上過不足額	流動資産計上過不足額
		固定資産	流動資産	固定資産	C	流動資産		
		A	B		うち 運搬設置費	D	A - C	B - D
松沢病院	1 SENSE HEAD コイルほか1点（固定資産）	425,110	-	479,374	54,264	-	54,264	-
	2 電動ベット12台ほか1点（流動資産）	248,832	0	0	-	248,832	248,832	248,832
	計	-	-	-	-	-	194,568	-

### 第3 経営状況の概要

#### 1 経営成績について

##### (1) 業務実績について

##### ア 入院患者実績について

当年度の入院患者実績は、表2のとおり、169万8,531人であり、前年度(173万65人)と比較して3万1,534人(1.8%)減少している。

これは主に、松沢病院において、急性期精神医療を中心とした精神医療センター(仮称)開設に向けて病棟の改修等を行っているため、病床数が減少したことなどによるものである。

(表2) 入院患者の実績比較表

(単位:床、人、%)

区分	平成19年度			平成18年度			対前年度比較(増減)			
	病床数	一日当り	年延べ(A)	病床数	一日当り	年延べ(B)	病床数	一日当り	年延べ(C)=(A)-(B)	率(C)/(B)×100
普通病院	3,923	3,454	1,264,289	3,923	3,486	1,272,487	0	32	8,198	0.6
広尾	476	429	157,192	476	423	154,496	0	6	2,696	1.7
大塚	500	428	156,535	500	436	159,146	0	8	2,611	1.6
駒込	801	699	255,866	801	707	258,200	0	8	2,334	0.9
豊島	360	282	103,140	360	278	101,555	0	4	1,585	1.6
墨東	729	653	238,984	729	681	248,341	0	28	9,357	3.8
府中	761	695	254,629	761	698	254,592	0	3	37	0.0
神経	296	268	97,943	296	263	96,157	0	5	1,786	1.9
小児病院	345	251	91,849	345	257	93,755	0	6	1,906	2.0
清瀬	255	182	66,771	255	188	68,509	0	6	1,738	2.5
八王子	90	69	25,078	90	69	25,246	0	0	168	0.7
精神科病院	1,233	936	342,393	1,247	997	363,823	14	61	21,430	5.9
松沢	991	743	272,040	1,005	810	295,619	14	67	23,579	8.0
梅ヶ丘	242	193	70,353	242	187	68,204	0	6	2,149	3.2
合計	5,501	4,641	1,698,531	5,515	4,740	1,730,065	14	99	31,534	1.8

(注) 病床数は、予算定床数である。

病床種別の病床数及び病床利用率は、表3のとおりである。病床数は、前年度に比較して全体で14床の減少となっている。これは、松沢病院で1病棟を閉鎖したことなどによるものである。病床利用率は、84.4%となっている。

(表3) 病床種別の病床数及び病床利用率比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成19年度				平成18年度				対前年度比較(増減)			
	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率
普通病床	4,079	3,601	1,318,005	88.3	4,079	3,645	1,330,256	89.3	0	44	12,251	1.0
精神病床	1,296	1,007	368,461	77.7	1,310	1,063	388,099	81.2	14	56	19,638	3.5
結核病床	86	32	11,812	37.5	86	32	11,635	37.1	0	0	177	0.4
感染症病床	40	1	253	1.7	40	0	75	0.5	0	1	178	1.2
合 計	5,501	4,641	1,698,531	84.4	5,515	4,740	1,730,065	85.9	14	99	31,534	1.5

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 病床利用率は年延べ患者数を病床数×暦日で除したものである。

3 精神病床は広尾・豊島・墨東・府中・松沢・梅ヶ丘の各病院に、結核病床は府中・清瀬小児の各病院に、感染症病床は駒込・豊島・墨東の各病院に設置している。

## イ 外来患者実績について

当年度の外来患者実績は、表4のとおり、202万1,553人であり、前年度(206万9,050人)と比較して4万7,497人(2.3%)減少している。これは主に、医師の欠員による受入患者数の減少によるものである。

(表4) 外来患者の実績比較表

(単位：人、%)

区 分	平成19年度		平成18年度		対前年度比較(増減)		
	一日当り	年延べ(A)	一日当り	年延べ(B)	一日当り	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	6,005	1,765,437	6,151	1,808,370	146	42,933	2.4
広尾	782	229,881	783	230,264	1	383	0.2
大塚	809	237,963	838	246,401	29	8,438	3.4
駒込	1,210	355,677	1,231	361,962	21	6,285	1.7
豊島	459	135,070	481	141,398	22	6,328	4.5
墨東	1,195	351,220	1,252	368,021	57	16,801	4.6
府中	1,531	449,945	1,549	455,334	18	5,389	1.2
神経	19	5,681	17	4,990	2	691	13.8
小児病院	371	108,998	380	111,855	9	2,857	2.6
清瀬	282	82,913	286	84,157	4	1,244	1.5
八王子	89	26,085	94	27,698	5	1,613	5.8
精神科病院	500	147,118	507	148,825	7	1,707	1.1
松沢	362	106,456	371	108,968	9	2,512	2.3
梅ヶ丘	138	40,662	136	39,857	2	805	2.0
合 計	6,876	2,021,553	7,038	2,069,050	162	47,497	2.3

## (2) 経営成績について

平成19年度における経営成績は、表5（詳細は、別表1比較損益計算書）のとおり、医業損益は、221億余円の損失であり、前年度（212億余円）の損失と比較して、8億余円（4.0%）増加している。経常損益は、3億余円の損失であり、前年度（26億余円）と比較して、23億余円（87.7%）減少している。純損益は、前年度6千万余円の純損失であったが、当年度は105億余円の純利益となっている。

(表5) 経営成績比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増 ( ) 減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医 業 収 益	104,958	103,678	1,280	1.2
医 業 費 用	127,097	124,963	2,133	1.7
医 業 損 益	22,138	21,285	852	4.0
医 業 外 収 益	28,087	25,330	2,757	10.9
医 業 外 費 用	6,275	6,704	429	6.4
経 常 損 益	326	2,659	2,333	87.7
特 別 利 益	10,992	2,748	8,244	300
特 別 損 失	115	148	33	22.5
純 損 益	10,550	60	10,611	-

### ア 収益について

総収益は、表6のとおり、1,440億余円であり、前年度（1,317億余円）と比較して、122億余円（9.3%）増加している。

医業収益は1,049億余円であり、前年度（1,036億余円）と比較して、12億余円（1.2%）増加している。

これは主に、入院収益が2億余円、一般会計負担金が9億余円それぞれ増加したことによるものである。一般会計負担金の増加は、救急医療経費が7億余円増加したことなどによるものである。

医業外収益は280億余円であり、前年度（253億余円）と比較して、27億余円（10.9%）増加している。

これは主に、一般会計補助金が26億余円増加したことによるものである。一般会計補助金の増加は、がん医療などの高度医療経費が12億余円、周産期医療などの特殊医療経費が

14億余円それぞれ増加したことなどによるものである。

特別利益は109億余円（前年度は27億余円）であり、これは、平成18年4月1日に荏原病院の土地を一般会計に有償所属換したことに伴う土地売却益（繰延年賦売却益勘定）の残額を振り替えたことにより生じたものである。

（表6）収益比較表

（単位：百万円、％）

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増( )減	
			金 額	率
			(C)=(A)-(B)	(C)/(B)×100
医業収益	104,958	103,678	1,280	1.2
入院収益	63,845	63,563	282	0.4
外来収益	22,672	22,625	46	0.2
一般会計負担金	16,792	15,820	971	6.1
その他医業収益	1,648	1,668	19	1.2
医業外収益	28,087	25,330	2,757	10.9
受取利息及配当金	3,079	2,988	91	3.0
一般会計負担金	1,626	1,720	93	5.4
一般会計補助金	20,723	18,119	2,604	14.4
国庫補助金	222	206	16	8.0
その他医業外収益	2,434	2,296	138	6.0
特別利益	10,992	2,748	8,244	300
総収益	144,038	131,756	12,281	9.3

一般会計からの繰入金は表7のとおり391億余円であり、前年度（356億余円）と比較して、34億余円増加している。

(表7) 一般会計繰入金内訳比較表

(単位：百万円)

区 分	平成19年度	平成18年度	増( )減
一般会計負担金	18,419	17,540	878
医業収益	16,792	15,820	971
救急医療経費	6,261	5,552	709
精神科病院運営経費	6,698	6,604	94
小児医療経費	1,793	1,704	89
保健衛生行政経費	2,038	1,959	79
医業外収益	1,626	1,720	93
建設又は改良に要する経費	1,626	1,720	93
一般会計補助金	20,723	18,119	2,604
医業外収益	20,723	18,119	2,604
高度医療経費	9,428	8,216	1,212
特殊医療経費	10,428	9,010	1,418
建設又は改良に要する経費	866	892	26
合 計	39,143	35,660	3,483

## イ 費用について

総費用は、表8のとおり、1,334億余円であり、前年度(1,318億余円)と比較して16億余円(1.3%)増加している。

医業費用は、1,270億余円であり、前年度(1,249億余円)と比較して、21億余円(1.7%)増加している。これは主に、職員手当の増加などにより給与費が20億余円増加したものである。

医業外費用は、62億余円であり、前年度(67億余円)と比較して、4億余円(6.4%)減少している。これは主に、雑支出が3億余円、支払利息及企業債取扱諸費が1億余円減少したことによるものである。

特別損失は1億余円である。これは、多摩メディカル・キャンパス(仮称)整備に伴い、整備区域内にある府中療育センター附属棟を移転する必要が生じたことから、取り壊し、新たに整備した後、福祉保健局へ譲渡したことによるものである。

なお、給与費・職員数等については表9のとおりとなっている。

(表8) 費用比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増( )減	
			金額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業費用	127,097	124,963	2,133	1.7
給与費	68,654	66,561	2,093	3.1
材料費	26,539	26,873	333	1.2
経費	20,567	20,062	504	2.5
減価償却費	10,414	10,602	188	1.8
資産減耗費	96	191	94	49.4
研究研修費	824	672	151	22.6
医業外費用	6,275	6,704	429	6.4
支払利息及企業債取扱諸費	2,492	2,612	120	4.6
繰延勘定償却	479	472	6	1.4
雑支出	3,303	3,619	316	8.7
特別損失	115	148	33	22.5
総費用	133,488	131,817	1,670	1.3

(表9) 給与費明細比較表

(単位：百万円)

区 分	平成19年度	平成18年度	増( )減
給料	25,668	26,003	335
職員手当	23,571	22,757	814
法定福利費	8,699	8,245	453
計	57,939	57,007	931
職員数	6,231人	6,211人	20人
平均年齢	40歳4月	40歳2月	0歳2月
職員1人当たり給与費	7,820千円	7,698千円	122千円

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者(平成19年度28人、平成18年度21人)を含む。

2 職員1人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

3 職員は、すべて損益勘定部門に所属している。

事業の収益性を示す経営指標は、表10のとおりである。主に医師の欠員などに伴い、入院患者及び外来患者の減少により営業利益（医業損益）が減少したため、総費用対総収益比率を除いた各比率は前年度より低下している。

（表10）経営比率の推移

（単位：％）

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	算式
経営資本 営業利益率	12.8	12.1	11.5	13.5	14.0	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	21.1	19.7	18.4	20.5	21.1	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	100.6	99.9	101.5	100.0	92.7	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	72.1	71.7	73.0	70.9	70.4	$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}}$

（注） 1 経営資本 = 総資本 - （建設仮勘定 + 投資 + 繰延勘定）

2 自己収支比率 = 病院事業収益（一般会計繰入金及び特別利益を除く。） ÷ 病院事業費用（特別損失を除く。）

## 2 財政状態について

### （1）資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表11のとおりである。

資本的収入は110億余円であり、前年度（88億余円）と比較して、22億余円（25.0％）増加している。

これは主に、一般会計出資金が39億余円（100％）減少したものの、企業債が19億余円（51.3％）、固定資産売却収入が23億余円（258.3％）、その他資本収入が19億余円（100％）増加したことによるものである。

資本的支出は179億余円であり、前年度（150億余円）と比較して、28億余円（19.0％）増加している。

これは、建設改良費が20億余円（24.4％）、企業債償還金が7億余円（11.8％）増加したことによるものである。

資金収支の状況は、表12のとおり、差引額は68億余円の財源不足となっている。これを損益勘定留保資金等で補てんした結果、全体としては12億余円の財源余剰となっている。

なお、当年度末における資金残高は、表13のとおりである。

(表 1 1) 資本的収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増( )減		
			金額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100	
資本的入	企業債	5,704	3,768	1,935	51.3
	一般会計出資金	0	3,995	3,995	100
	国庫補助金	143	159	15	10.0
	固定資産売却収入	3,268	912	2,355	258.3
	その他資本収入	1,929	0	1,929	-
	計	11,044	8,835	2,209	25.0
資本的出	建設改良費	10,640	8,552	2,088	24.4
	企業債償還金	7,280	6,512	768	11.8
	計	17,921	15,064	2,857	19.0
差引資本的収支	6,876	6,229	647	10.4	

(表 1 2) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出(A)	17,921	資本的収入(B)	11,044
		資本的収支資金不足額 (C)=(A)-(B)	6,876
		当期純利益	10,550
		特別利益等	10,603
		不動産信託受益権	2,968
		損益勘定留保資金	11,108
		(減価償却費)	10,414
		(繰延勘定償却)	479
		(固定資産除却費等)	214
		消費税資本的収支調整額	39
		計(D)	8,125
収益的収支の資金剰余額 (E)=(D)	8,125		
当年度資金剰余額 (F)=(E)-(C)	1,249		
合計(A)+(F)	19,170	合計(B)+(D)	19,170

(表13) 年度末資金残高表

(単位：百万円)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
流動資産(A)	35,044	34,022	36,520	40,063	45,433
流動負債(B)	16,018	15,445	13,799	15,233	19,353
年度末資金残高(A - B)	19,026	18,577	22,721	24,830	26,079

(2) 資産、負債及び資本について

当年度末の資産、負債及び資本の状況は、別表2比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、1,982億余円で、前年度(1,959億余円)と比較して、23億余円(1.2%)増加している。

これは主に、固定資産が30億余円減少したものの、流動資産が53億余円増加したことによるものである。

流動資産の増加は、主に、未収金が49億余円減少したものの、現金預金が103億余円増加したことによるものである。

固定資産の減少は、主に、有形固定資産が11億余円増加したものの、荏原病院の土地にかかる年賦未収金の減少等により投資が39億余円減少したことによるものである。

負債総額は193億余円であり、前年度(262億余円)と比較して、68億余円(26.2%)減少している。

これは主に、未払金が41億余円増加したものの、その他固定負債の繰延年賦売却益が109億余円減少したことによるものである。

資本総額は1,789億余円であり、前年度(1,697億余円)と比較して、91億余円(5.4%)増加している。

これは、資本金が借入資本金の減少により15億余円減少したものの、当年度純利益を計上したこと等により剰余金が107億余円増加したことによるものである。

次に、当年度における有利子負債及び支払利息等の状況は、表14のとおりであり、有利子負債が15億余円、支払利息等が1億余円それぞれ減少している。

(表14) 有利子負債及び支払利息等の状況

(単位：百万円)

区 分		平成19年度 末残高(A)	平成19年度		平成18年度 末残高(B)	増( )減 (A) - (B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	88,155	5,706	7,280	89,730	1,574
区 分		平成19年度支払額 (C)		平成18年度支払額 (D)		増( )減 (C) (D)
支払利息等	支払利息及企業 債取扱諸費	2,492		2,612		120

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表15のとおりである。

自己資本構成比率及び固定長期適合率は前年度より改善されているが、これは剰余金が107億余円増加したことによるものである。

(表15) 財務比率の推移

(単位：%)

項 目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	算 式
流動比率	218.8	220.3	264.7	263.0	234.8	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	34.3	35.2	37.7	40.8	45.8	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	88.0	88.0	85.9	84.3	83.4	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

2 長期資本 = 資本金(自己資本金 + 借入資本金) + 剰余金 + 固定負債

### 3 建設改良事業について

建設改良事業は、建設改良工事、器械及備品の整備を行っており、表16のとおり、予算額127億余円に対し、決算額106億余円であり、執行率83.8%となっている。

(表16) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	執行率(B)/(A) × 100	不用額(A) - (B)
建設改良工事	8,538	7,092	83.1	1,445
器械及備品	4,164	3,547	85.2	617
計	12,703	10,640	83.8	2,062

( 1 ) 建設改良工事について

建設改良工事は、予算額 8 5 億余円に対し、決算額 7 0 億余円であり、執行率は 8 3 . 1 % となっている。

工事の主なものは、多摩メディカル・キャンパス（仮称）の整備（ 5 2 億余円）、がん・感染症医療センター（仮称）の整備（ 2 億余円）である。不用額の主なものは、多摩メディカル・キャンパス（仮称）の整備において、鉄塔の移設工事に係る負担金の減による執行残 5 億余円である。

( 2 ) 器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額 4 1 億余円に対し、決算額 3 5 億余円であり、執行率は 8 5 . 2 % となっている。

整備購入した医療器械の主なものは磁気共鳴断層撮影装置 2 台（ 4 億余円）である。

## (別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成19年度	平成18年度	増 ( ) 減	
	金 額 ( A )	金 額 ( B )	金 額 ( C ) = ( A ) - ( B )	率 ( C ) / ( B ) × 100
医業収益	104,958,792,189	103,678,025,274	1,280,766,915	1.2
入院収益	63,845,533,101	63,563,449,952	282,083,149	0.4
外来収益	22,672,211,147	22,625,702,568	46,508,579	0.2
一般会計負担金	16,792,519,000	15,820,635,000	971,884,000	6.1
その他医業収益	1,648,528,941	1,668,237,754	19,708,813	1.2
医業費用	127,097,218,805	124,963,456,932	2,133,761,873	1.7
給与費	68,654,840,125	66,561,400,167	2,093,439,958	3.1
材料費	26,539,951,126	26,873,170,872	333,219,746	1.2
経費	20,567,197,590	20,062,872,609	504,324,981	2.5
減価償却費	10,414,491,143	10,602,775,829	188,284,686	1.8
資産減耗費	96,702,786	191,171,887	94,469,101	49.4
研究研修費	824,036,035	672,065,568	151,970,467	22.6
医業損益	22,138,426,616	21,285,431,658	852,994,958	4.0
医業外収益	28,087,665,935	25,330,573,250	2,757,092,685	10.9
受取利息及配当金	3,079,280,795	2,988,247,731	91,033,064	3.0
一般会計負担金	1,626,815,000	1,720,176,000	93,361,000	5.4
一般会計補助金	20,723,666,000	18,119,189,000	2,604,477,000	14.4
国庫補助金	222,985,000	206,391,000	16,594,000	8.0
その他医業外収益	2,434,919,140	2,296,569,519	138,349,621	6.0
医業外費用	6,275,398,826	6,704,820,809	429,421,983	6.4
支払利息及企業債取扱諸費	2,492,287,807	2,612,468,856	120,181,049	4.6
繰延勘定償却	479,410,808	472,600,137	6,810,671	1.4
雑支出	3,303,700,211	3,619,751,816	316,051,605	8.7
経常損益	326,159,507	2,659,679,217	2,333,519,710	87.7
特別利益	10,992,095,508	2,748,023,877	8,244,071,631	300
特別損失	115,387,300	148,871,784	33,484,484	22.5
当年度純損益	10,550,548,701	60,527,124	10,611,075,825	-
前年度繰越欠損金	5,827,927,535	5,767,400,411	60,527,124	1.0
当年度未処分利益剰余金 ( 当年度未処理欠損金 )	4,722,621,166	5,827,927,535	10,550,548,701	-

(別表2)比較貸借対照表

(単位:円、%)

科 目	平成19年度		平成18年度		増( )減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C)/(B) × 100
固定資産	149,273,935,067	75.3	152,292,522,786	77.7	3,018,587,719	2.0
有形固定資産	120,798,749,169	60.9	119,692,410,421	61.1	1,106,338,748	0.9
土地	1,735,787,169	0.9	1,735,787,169	0.9	0	0
立木	228,350,119	0.1	228,350,119	0.1	0	0
建物	183,811,289,501	92.7	182,775,382,689	93.3	1,035,906,812	0.6
建物減価償却累計額	94,894,233,028	47.9	90,042,214,464	46.0	4,852,018,564	5.4
構築物	8,406,027,740	4.2	8,385,482,592	4.3	20,545,148	0.2
構築物減価償却累計額	5,265,963,918	2.7	5,028,157,545	2.6	237,806,373	4.7
器械及備品	62,879,667,127	31.7	60,954,541,699	31.1	1,925,125,428	3.2
器械及備品減価償却累計額	45,154,602,247	22.8	43,141,509,321	22.0	2,013,092,926	4.7
車両	76,095,500	0.0	78,310,500	0.0	2,215,000	2.8
車両減価償却累計額	50,143,690	0.0	69,483,403	0.0	19,339,713	27.8
建設仮勘定	9,026,474,896	4.6	3,815,920,386	1.9	5,210,554,510	136.5
無形固定資産	1,081,284,360	0.5	1,227,433,903	0.6	146,149,543	11.9
無形固定資産	1,081,284,360	0.5	1,227,433,903	0.6	146,149,543	11.9
投資	27,393,901,538	13.8	31,372,678,462	16.0	3,978,776,924	12.7
年賦未収金	10,600,068,614	5.3	14,260,284,244	7.3	3,660,215,630	25.7
不動産信託受益権	35,832,303,807	18.1	32,863,433,874	16.8	2,968,869,933	9.0
不動産信託仮勘定	19,068,448,883	9.6	17,690,222,706	9.0	1,378,226,177	7.8
その他投資	29,978,000	0.0	1,939,183,050	1.0	1,909,205,050	98.5
流動資産	45,433,531,783	22.9	40,063,887,557	20.4	5,369,644,226	13.4
現金預金	27,223,462,397	13.7	16,909,939,670	8.6	10,313,522,727	61.0
現金	72,268,436	0.0	93,213,778	0.0	20,945,342	22.5
預金	27,151,193,961	13.7	16,816,725,892	8.6	10,334,468,069	61.5
未収金	17,516,540,579	8.8	22,482,484,925	11.5	4,965,944,346	22.1
医業未収金	16,914,588,056	8.5	16,134,643,766	8.2	779,944,290	4.8
医業外未収金	225,096,083	0.1	2,189,562,967	1.1	1,964,466,884	89.7
未収消費税及地方消費税還付金	73,635,300	0.0	0	0	73,635,300	-
その他未収金	303,221,140	0.2	4,158,278,192	2.1	3,855,057,052	92.7
貯蔵品	692,847,127	0.3	670,729,228	0.3	22,117,899	3.3
材料	670,595,203	0.3	648,934,950	0.3	21,660,253	3.3
その他貯蔵品	22,251,924	0.0	21,794,278	0.0	457,646	2.1
その他流動資産	681,680	0.0	733,734	0.0	52,054	7.1
前払金	681,680	0.0	733,734	0.0	52,054	7.1
繰延勘定	3,559,788,826	1.8	3,594,967,233	1.8	35,178,407	1.0
控除対象外消費税額	3,559,788,826	1.8	3,594,967,233	1.8	35,178,407	1.0
控除対象外消費税額	3,559,788,826	1.8	3,594,967,233	1.8	35,178,407	1.0
資産合計	198,267,255,676	100	195,951,377,576	100	2,315,878,100	1.2

(単位:円、%)

科 目	平成19年度		平成18年度		増 ( ) 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C)/(B) × 100
固定負債	0	0	10,992,095,508	5.6	10,992,095,508	100
その他固定負債	0	0	10,992,095,508	5.6	10,992,095,508	100
繰延年賦売却益	0	0	10,992,095,508	5.6	10,992,095,508	100
流動負債	19,353,947,137	9.8	15,233,689,012	7.8	4,120,258,125	27.0
未払金	19,353,405,859	9.8	15,231,983,367	7.8	4,121,422,492	27.1
医業未払金	10,128,085,887	5.1	9,201,911,456	4.7	926,174,431	10.1
建設改良未払金	7,724,853,795	3.9	3,863,715,751	2.0	3,861,138,044	99.9
貯蔵品購入未払金	1,443,222,415	0.7	2,061,657,479	1.1	618,435,064	30.0
未払消費税及地方消費税	0	0	77,484,200	0.0	77,484,200	100
過誤納還付金	3,096,590	0.0	2,422,281	0.0	674,309	27.8
その他未払金	54,147,172	0.0	24,792,200	0.0	29,354,972	118.4
その他流動負債	541,278	0.0	1,705,645	0.0	1,164,367	68.3
預り金	529,678	0.0	1,649,685	0.0	1,120,007	67.9
その他流動負債	11,600	0.0	55,960	0.0	44,360	79.3
負債合計	19,353,947,137	9.8	26,225,784,520	13.4	6,871,837,383	26.2
資本金	168,031,931,151	84.8	169,606,893,778	86.6	1,574,962,627	0.9
自己資本金	79,876,462,877	40.3	79,876,462,877	40.8	0	0
借入資本金	88,155,468,274	44.5	89,730,430,901	45.8	1,574,962,627	1.8
企業債	88,155,468,274	44.5	89,730,430,901	45.8	1,574,962,627	1.8
剰余金	10,881,377,388	5.5	118,699,278	0.1	10,762,678,110	-
資本剰余金	6,158,756,222	3.1	5,946,626,813	3.0	212,129,409	3.6
受贈財産評価額	2,822,586,736	1.4	2,752,997,976	1.4	69,588,760	2.5
国庫補助金	3,082,844,577	1.6	2,940,303,928	1.5	142,540,649	4.8
その他資本剰余金	253,324,909	0.1	253,324,909	0.1	0	0
利益剰余金	4,722,621,166	2.4	5,827,927,535	3.0	10,550,548,701	-
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	4,722,621,166	2.4	5,827,927,535	3.0	10,550,548,701	-
資本合計	178,913,308,539	90.2	169,725,593,056	86.6	9,187,715,483	5.4
負債・資本合計	198,267,255,676	100	195,951,377,576	100	2,315,878,100	1.2